

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の国語では、学習した漢字を正しく使うことについて、全国平均を上回る高い正答率でした。漢字大会等で学習した漢字の総復習を繰り返した成果であると考えています。また算数では、棒グラフの読み取り等の正答率が高く、「自分でグラフを書く」等の活動に丁寧に取り組んだ成果であると考えています。

質問紙調査の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目は、コロナ禍の中で全国平均をはるかに上回る高い回答率でした。また「自分には、よいところがある」も高い回答率でした。これは、学校、保護者、地域の方が協力して子どもたちを温かく見守り、育てているからだと考えます。今後も、保護者や地域の方と連携を深めていきたいと考えます。

課題と対応

国語では、「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことに課題がみられました。国語の学習だけでなく、他教科・領域の学習の中でも、相手や目的に応じて構成を考えて書く指導を継続したいと考えます。

算数では、「求め方や理由を記述する」ことに課題が見られました。授業の中で「どうしてそうなるのか」自分の考えを記述し話し合う活動を繰り返し取り入れ、定着を図りたいと思います。

質問紙調査の結果から、自分で計画を立てて勉強している児童の割合が低く、全体として家庭学習の時間が短いことが分かりました。自主学習取組強化月間の設定等で、家庭での自主学習が定着してきてはいますが、さらに質・量の向上を目指し、粘り強く取り組みたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調のアンケートでは「朝食を毎日食べている」「起床・就寝時刻が決まっている」と回答した児童の割合が高く、ご家庭の協力でよい生活習慣が確立していることが分かります。

しかし、家庭学習に関しては、「家庭学習が1時間以下」の児童の割合が高いことが分かりました。家庭学習の時間の目安は、(学年×10+10)分なので、6年生は70分です。学校では6月・11月・2月を自主学習取組強化月間としています。質と量の向上を目指し、優れた取組を学校放送や掲示板で全校に紹介していきます。これらの取組はその都度、学校だよりや学級通信等でもお知らせしています。ご協力よろしくお願ひいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	漢字を正しく書いている。
	社会	安全性を保つための生産者の取組を考え、表現している。
	算数	2けた÷1けた=1けた（余りなし）の計算ができる。
	理科	観察カードに何が記載されているか読み取ることができる。
	学習状況	国語・算数・社会の授業の内容はよく分かれると回答した児童の割合が高い。
第5学年	国語	漢字を正しく読んでいる。
	社会	西大寺会陽について理解している。
	算数	商とあまりを理解している。
	理科	ヘチマの種を理解している。
	学習状況	国語・算数・社会・理科の授業の内容はよく分かれると回答した児童の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	慣用句の意味を理解することに課題がある。	「国語・算数・社会の授業の内容はよく分かる」と答えた児童が多かったのは、「めあて」と「まとめ」がある分かりやすい授業スタイルを確立した成果と考えられる。しかし、どの教科も理解に課題がある。今後の授業の改善策としては、今まで以上にスモールステップでポイントを押さえ、子どもが話し合い、自分の考えと友達の考えを比べる中で、理解を深めるようにしたいと考える。 「自主学習取組強化月間」を学期に1回設けて優れた取組を紹介しているが、「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童の割合は十分ではない。またスマートフォンやゲームに1日3時間以上費やしている児童も数名いる。メディアコントロール週間などの取組を継続し、声をかけ続けたい。
	社会	資料から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	4けたの整数の大小について理解することに課題がある。	
	理科	風の強さによって車の動く距離の変わり方を調べるときに、何を変えたらよいか推測することに課題がある。	
	学習状況	家で自分で計画を立てて勉強することに課題がある。	
第5学年	国語	段落相互の関係に着目しながら、指示語が指す内容について叙述を基に捉えることに課題がある。	「国語・算数・理科・社会の授業の内容はよく分かる」と答えた児童が多かったのは、「めあて」と「まとめ」がある分かりやすい授業スタイルを確立した成果と考えられる。また理科の成績が良かったのは、スモールステップを心がけた指導の成果と考えられる。しかし、まだまだ算数・社会科の「思考・判断・表現」の正答率が低く、今後の授業の改善策としては、今まで以上に子どもが話し合い、自分の考えと友達の考えを比べる中で、理解を深めるようにしたいと考える。 「自主学習取組強化月間」を学期に1回設けて優れた取組を紹介している。しかし「家で、自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童の割合に課題が見られる。取組を継続し、声をかけ続けたいと考える。
	社会	関係機関の災害への取組について、総合的に理解することに課題がある。	
	算数	きまりを見つけ、きまりを使って計算することに課題がある。	
	理科	水のすがた（液体・気体）を理解することに課題がある。	
	学習状況	家で自分で計画を立てて勉強することに課題がある。	

【保護者・学区の方へのお願い】

自主学習の取組が浸透し、自分で計画を立てて勉強している児童が少しずつ増えてきています。しかし、全体としては、まだまだ時間が短いのが現状です。また、スマートフォンやゲームに何時間も費やしている児童もいます。メディアコントロール週間などを通して学校でも呼びかけていきますが、ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。